

## 創世記31 創世記20章1節～21章7節

### 「イサク誕生の経緯」

#### イントロ:

##### 1. 前回までの復習

- (1) 神はアブラムを選び、彼とその子孫を通して全人類を救おうとされた。
- (2) それがアブラハム契約である。
- (3) 子孫の約束は、アブラハム契約の条項のひとつである。
- (4) アブラハムに息子が誕生しないなら、この条項は実現しないことになる。
- (5) アブラハムが100歳、サラが90歳で、イサクが誕生する。
- (6) その誕生は、すんなりとは行かなかった。

##### 2. メッセージのアウトライン

- (1) アビメレク事件
  - ①事件の背景
  - ②アビメレクと神
  - ③アビメレクとアブラハム
  - ④結末
- (2) イサクの誕生
  - ①約束の成就
  - ②サラの喜び
  - ③サラの認識

##### 3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 神の計画を妨害する闇の力が存在する。
- (2) 神は、最終的に勝利される。
- (3) クリスマンにとって希望とは何か。

このメッセージは、神にある勝利と希望について学ぼうとするものである。

#### I. アビメレク事件

##### 1. 事件の背景(1～2節)

- (1) アブラハムの移動
  - ①ヘブロン近く、マムレの櫛の木の所から、ネゲブ地方(南の方角)への移動。
  - ②ソドムとゴモラが見える所に留まりたくなかったのか。

- ③東にカデシュ。カデシュ・バルネアのこと。西にシュル。エジプトとの国境。
- ④その中間にゲラルの町がある。ペリシテ人の地(平原)
- (2) アブラハムは、創12章で犯したのと同じ過ちを犯す。
  - ①「アブラハムは、自分の妻サラのことを、『これは私の妹です』と言った」
- (3) イサクが誕生する前の年にこれが起こっている。
  - ①サラはまだ妊娠していないか、そのしるしが出ていない時。
  - ②アブラハムは、約束の子の誕生を再び危険にさらした。
- (4) アビメレクとは、個人名ではなく、ゲラルの王のタイトルである。
  - ①個人名は分からない。
  - ②エジプトの王は「パロ」。
  - ③彼は、サラを召し入れた。
  - ④ イサクの誕生が危うくなった。

## 2. アビメレクと神(3～7節)

- (1) 夢の中での神の介入(異邦人も夢の中で神からの啓示を受ける)
- (2) 創世記にはそのような異邦人が5人いるが、すべて警告の言葉を受けている。
  - ①アビメレク
  - ②ラバン(31:24)
  - ③パロに仕える献酌官
  - ④パロに仕える調理官(40:5)
  - ⑤パロ(41:1)
- (3) アビメレクへの警告  
「あなたが召し入れた女のために、あなたは死ななければならない。あの女は夫のある身である」
  - ① アブラハムが語ったことは、半分真実で半分嘘。
  - ②アビメレクは、それを知らずにサラを召し入れた。
  - ③それでもアビメレクが呪いを受けている。
  - ④アブラハム契約が無条件契約であるから。
  - ⑤アブラハム契約の祝福と呪いの条項が働いている。
- (4) アビメレクの弁明
  - ①「アビメレクはまだ、彼女に近づいていなかった」
  - ②サラとの肉体関係をまだ持っていなかった。
  - ③「主よ。あなたは正しい国民をも殺されるのですか」
  - ④彼は、都市国家ゲラル全体の滅びを心配している。
  - ⑤彼は、無実の主張をする。

(5) 神の応答

- ①夢は続いている。
- ②神はアビメレクが無実であることを認められた。
- ③アビメレクがサラに触れなかったのは、神が彼に罪を犯させないためであった。
- ④「今、あの人の妻を返していのちを得なさい。あの人は預言者であって、あなたのために祈ってくれよう」
  - \*聖書で初めて「預言者」という語が出てくる。「ナビ」。
  - \*この指示に従えば、祝福が与えられる。
- ⑤「しかし、あなたが返さなければ、あなたも、あなたに属するすべての者も、必ず死ぬことをわきまなさい」
  - \*指示に従わないなら、裁きが家族全部にやって来る。

3. アビメレクとアブラハム(8~15節)

- (1)「翌朝早く、アビメレクは彼のしもべを全部呼び寄せ、これらのことをみな語り聞かせたので、人々は非常に恐れた」
  - ①「しもべ」とは、恐らく「助言者たち」のことであろう。
- (2)アブラハムを問い詰めるアビメレク
  - ①「あなたは何ということをして、してくれたのか」
  - ②「あなたが私と私の王国とに、こんな大きな罪をもたらすとは、いったい私がどんな罪をあなたに犯したのか」
  - ③「あなたはしてはならないことを、私にしたのだ」
  - ④異教の王が、神を知るアブラハムを叱責している。
  - ⑤2度目の叱責。「あなたはどのようなつもりで、こんなことをしたのか」
- (3)アブラハムの弁明
  - ①「この地方には、神を恐れることが全くないので、人々が私の妻のゆえに、私を殺すと思ったからです」
  - ②「また、ほんとうに、あれは私の妹です。あの女は私の父の娘ですが、私の母の娘ではありません。それが私の妻になったのです」
    - \*モーセの律法ではこの結婚は禁止されるようになる。
    - \*レビ18:9、18:11、20:17、申27:22、エゼ22:11
  - ③これは、アブラハムの25年にわたるポリシー。
    - \*従って、聖書に書かれている回数よりも頻繁にこれが起こった。
    - \*このポリシーがうまく機能しなかった場合が、2度あった。
- (4)アビメレクの対応
  - ①「そこでアビメレクは羊、牛および男女の奴隷を取ってアブラハムに与え、そ

の妻サラを彼に返した」

- ② アブラハムは、エジプトの時と同様により豊かになった。
- ③ 「わたしの地はあなたの前にあります。あなたの好きな所に住みなさい」
  - \* パロの場合と異なり、その地に住むことが許された。
  - \* 未信者の寛容な心を見る。
- ④ アビメレクはサラに賠償金を支払い、決着をつけた。

「わたしは、銀一千シケルをあなたの兄上に贈りました。それは、あなたとの間のすべての出来事の疑惑を晴らす証拠です。これであなたの名誉は取り戻されるでしょう」(新共同訳)

#### 4. 結末(17～18節)

- (1) 呪いの除去
- (2) アブラハムが神に祈っている。
  - ① アブラハム契約が無条件契約であることを示している。
  - ② 呪いが取り除かれた。
  - ③ 時間の経過が見られる。
  - ④ アビメレクがサラを返したので、ユダヤ民族が誕生することになった。
  - ⑤ その時神は、アビメレクに将来の彼の民を返された。
- (3) アブラハムは祭司としての役割を果たしている。

## II. イサクの誕生

### 1. 約束の成就

- (1) 17章、18章で約束されてきたことが成就した。
- (2) アビメレクの家を胎を開かれた主は、サラの胎も開かれた。
- (3) 「神がアブラハムに言われたその時期に」(創18:14)

「【主】に不可能なことがあるだろうか。わたしは来年の今ごろ、定めた時に、あなたのところに戻って来る。そのとき、サラには男の子ができています。」
- (4) イサクと命名
- (5) 8日目の割礼(聖書では、初めての記録)
- (6) アブラハム契約のしるし
- (7) アブラハムは100歳。約束が与えられてから、25年。
  - ① 神の約束の成就は、すぐにとは限らない。
  - ② しかし、確実にやって来る。

## 2. サラの喜び

### (1) 訳文比較

【口語訳】 そしてサラは言った、「神はわたしを笑わせてくださった。聞く者は皆わたしのことで笑うでしょう」。

【新改訳改訂3】 サラは言った。「神は私を笑われました。聞く者はみな、私に向かって笑うでしょう。」

【新共同訳】 サラは言った。「神はわたしに笑いをお与えになった。聞く者は皆、わたしと笑い(イサク)を／共にしてくれるでしょう」

(2) 言葉遊びが2度出てくる。

(3) 積極的な意味で使われている。

(4) かつては、ハガルのような人々がサラのことを笑っていた。

(5) しかし、サラの予想通りにならないことが分かってくる。

## 3. サラの認識

(1) 【新共同訳】 サラはまた言った。「誰がアブラハムに言いえたでしょう／サラは子に乳を含ませるだろうと。しかしわたしは子を産みました／年老いた夫のために」

(2) 不可能なことが起こったという認識。

(3) 「子に乳を含ませる」の「子」複数形である。

①アブラハム契約を認識し、イサクから多くの子孫が誕生することを信じた。

(4) 「子を産みました」の「子」は単数形である。イサクのこと。

(5) 不信仰の笑いが、喜びの笑いとなった。

## 結論

### 1. 神の計画を妨害する闇の力が働いている。

(1) 創3:15の「女の子孫」の約束

(2) メシアの誕生を妨害するサタン之力

(3) 舞台裏で今も働く闇之力

### 2. 神は最終的に勝利される。

(1) 時間の経過の中でサラが守られた。

(2) 夢でアビメレクに語られた。

(3) サラはアブラハム契約の内容を理解した。

(4) ヨハネ1:5

「光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった」

- ① アブラハムの子孫であるメシアの誕生
- ② 罪のない生涯
- ③ 贖罪の死
- ④ 3日目の復活

3. クリスマンにとって希望とは何か。

(1) アブラハムは、イサク誕生までに25年待たされた。

(2) 新約聖書の解説

① ロマ4：17～22 望みえないときに望みを抱いて信じた。

② ヘブル11：11～12 約束してくださった方を真実な方と信じた。

(例話) ある有名な伝道者の悲嘆の声

(3) 祈りの答えがすぐに返って来ない時

① 実は、答えは「希望」という形で返って来ている。

② そこに、クリスマンの希望がある。

(4) メシアの再臨、千年王国の確立、新天新地の出現は、将来成就すること。